

当院設立の胎動は1935年代初期、産業組合活動の中に芽生え、第二次世界大戦の終結を機に、雲南地域の誓願に応じて島根県農業会が岡山大学医学部の指導のもとに、1948年3月1日開院し、以来岡山、鳥取、島根大学の不断の支援を仰ぎ、拡充躍進を続け、1961年4月1日より大東町外9ヶ町村雲南共存病院組合の管理による自治体の総合病院となった。平成になると「平成の大合併」により、2004年11月1日に病院組合の名称は「公立雲南総合病院組合」に変更し、構成市町は雲南市（大東町、加茂町、木次町、三刀屋町、掛合町、吉田村）の発足により1市4町となり、2005年1月1日には飯南町（頓原町、赤来町）の発足により1市3町となり、2005年3月30日には奥出雲町（横田町、仁多町）の発足により1市2町となり、これにより旧10ヶ町村の合併も終わりを向えた。

2011年4月からは雲南市が経営する市立病院として、雲南地域の医療並びに健康管理に精進している。

昭 和

- 1946年12月29日 島根県農業会により起工（昭和21年）
- 1947年2月28日 島根県農業会への病院開設許可 50床
- 1948年3月1日 竣工 開院
 総面積 2,194㎡
 病床数 一般 50床
 職 員 35名
 診療科 内科、小児科、外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、放射線科
 院 長 向畑十四郎 就任
- 8月15日 島根県施設農連への移管
- 1949年4月15日 雲南厚生農協連への移管
- 1950年10月18日 外科診療室、手術室竣工 513.23㎡ 3,000千円
- 1951年11月10日 新病棟 一般 36床 661.16㎡
 結核病棟（雲南荘）50床 578.52㎡ 9,640千円
- 12月28日 結核病床50床許可（一般50床、結核50床 計100床）
- 1952年1月18日 一般病床36床増床許可（一般86床、結核50床 計136床）
- 2月27日 付属准看護学院設置許可
- 5月29日 完全給食の実施 承認
- 7月14日 完全看護の実施 承認
- 1953年6月1日 伝染病棟竣工（大原郡町村立） 23床 413.23㎡
- 6月22日 伝染病棟開設許可
 一般86床、結核50床、伝病23床 計159床
- 1954年7月12日 結核病棟（呼称：第二雲南荘）20床増床許可
- 7月15日 結核病棟竣工 198.35㎡
- 10月27日 岡大医学部眼科教室 赤来教授による眼科巡回無料検診の実施
- 11月20日 看護婦宿舎竣工 515.7㎡ 460千円
- 1957年6月21日 患者輸送自動車設置
- 1958年1月1日 総合病院の名称使用許可 指令衛第1594号
- 1961年1月1日 病院長 岡部義教 就任
- 4月1日 大東町外9ヶ町村雲南共存病院組合に経営移管 職員数84名
 地方公営企業法（財務等）一部適用
- 1963年11月22日 神経精神科 50床許可
 一般86床、結核70床、伝染23床、精神50床 計229床

当院の概況・沿革

- 1964年 1月1日 完全寝具実施 承認
 4月1日 医師住宅10戸新築（1～10号）
 4月30日 精神病棟（呼称：文化病棟）新築50床 660.00㎡
- 1965年 1月12日 病院長 阿方勉三 就任
- 1966年 6月13日 一般病棟144床増床許可
 一般230床、結核70床、伝病23床、精神50床 計373床
- 1967年 7月31日 1965年より3ヶ年計画 病院増床
 改築工事 完成
 総事業費 317,132千円
 建築面積 6,691.00㎡ 鉄筋コンクリート4階建て
- 1970年 4月10日 救急指定病院
 12月30日 X線テレビ、シンチスキャナ、X線自動現像装置購入
- 1971年 4月15日 一般30床、結核20床 減床
 一般200床、結核50床、伝病23床、精神50床 計323床
 1月 医師住宅新築（11号）
- 1972年 9月1日 伝染病棟移転
- 1973年 2月28日 医師住宅4戸新築（12～15号住宅）
 4月26日 結核20床、伝病8床 減床
 一般200床、結核30床、伝病15床、精神50床 計295床
 7月 高電圧X線診断装置購入
 8月1日 島根県事業団 特別養護老人ホーム「簸の上園」竣工 50床
- 1974年 3月 自家発電設備 50KVA 設置
 12月3日 病院特例債 194,200千円
- 1976年 7月19日 結核16床減床、一般16床増床
 一般216床、結核14床、伝病15床、精神50床 計295床
- 1977年 3月1日 開院30周年 30周年記念誌発刊
 医師住宅3戸新築（16～18号住宅）、災害住宅3戸購入
 本館1階冷房装置設置、X線テレビ購入
 特別養護老人ホーム「簸の上園」50床増床 計100床
- 1978年12月27日 診療リハビリ棟増築 540.00㎡ 70,700千円
 防災（スプリンクラー他）設置工事 56,366千円
- 1979年 3月 電子走査形超音波診断装置購入
 12月 循環器用X線装置購入
- 1980年 3月31日 污水处理場新設 81,300千円
 6月 非常用発電設備（250KVA）設置
 12月 ガンマカメラ購入 63,500千円
- 1981年 2月 検査室 自動分析装置購入
 3月15日 管理棟増築 605.13㎡ 78,600千円
 6月23日 液体酸素設備設置
- 1982年 2月27日 渡り廊下設置（本館～文化病棟） 221.00㎡
 正面玄関無人化（庁舎内下足）
- 1983年 2月 高電圧診断用X線撮影装置購入
 3月 断層撮影装置購入
 5月 アルゴンレーザー光凝固装置購入

当院の概況・沿革

- 1984年12月 診断用X線装置購入
- 1985年3月31日 医師住宅（マンション式）4戸新築（21～24号住宅） 423.10㎡ 78,600千円
本館病棟冷房設備工事 79ヶ所 49,900千円
- 1987年3月18日 CT棟建築及び放射線科内部改修工事 69.00㎡ 17,009千円
全身用CT装置（東芝CT-70A/30） 90,000千円
- 4月1日 6時給食実施 病棟清掃業務外部委託
コンピューター導入（医事、財務、給与）
- 1988年3月1日 医事、薬局カウンターオープン化、胸部X線装置購入
3月31日 附属准看護学院第35回生を最後に閉学
4月1日 病院長 大谷 満 就任
5月1日 正面玄関改装工事（正面ホール含む）
7月1日 寄宿舎、看護学院建物撤去
12月1日 医師住宅7戸新築（25～31号住宅）
- 1989年1月7日 6時30分 昭和天皇崩御
- 平成**
- 1月8日 元号「平成」に改正
- 3月1日 基準病衣貸与 承認
- 3月13日 結核病棟（14床）閉鎖、一般病床14床増床
一般230床、精神50床、伝病15床 計295床
- 3月30日 病院の名称変更
設置主体
（旧）大東町外9ヶ町村雲南共存病院組合
（新）大東町外9ヶ町村雲南病院組合
病院名
（旧）雲南共存病院
（新）公立雲南総合病院
- 6月5日 給与システム更新
- 9月6日 薬局 電光投薬表示装置設置
- 12月4日 病棟増改築工事着工（本館西側）
- 1990年2月1日 救急車設置（赤橙、サイレン設置）
- 3月 カセットレスX線テレビ装置購入
- 5月31日 事務所棟竣工 310.54㎡ 42,500千円
- 8月1日 伝染病隔離病舎組合事務委託（出雲市外6市町広域事務組合）
- 10月 外科用X線テレビ装置購入
- 12月20日 病棟増改築工事竣工 342,352千円
病棟 2,950.08㎡ 発電機室 37.80㎡
改修 73.89㎡
本館窓アルミサッシ取替え工事（2～4階）、外壁塗装修繕工事
本館屋上全面人工芝敷設工事、院内テレビ共聴設備工事
患者用自転車小屋設置工事（50.30㎡）
- 1991年2月12日 医療廃棄物対応型焼却炉設置
- 2月28日 医師住宅6戸新築（32～38号住宅） 519.07㎡ 107,429千円
- 3月27日 伝染病棟閉鎖（15床）、一般病棟18床増床
一般248床、精神50床 計298床
汚水処理場機器装置導入、生化学血液検査装置、患者監視装置

当院の概況・沿革

- 人工腎臓透析装置導入
- 4月 泌尿器科、脳神経外科、皮膚科の標榜（常勤）
人工腎臓透析センター開設
- 1992年1年29日 自動受付カルテ検索機システム、全自動錠剤分包機導入
- 3月20日 本館内部移設改装工事竣工 231,955千円
内科増築、床全面張替え、外来パーテーション取替え
各所間仕切り変更
- 11月1日 職員駐車場（借地） 3,178.00㎡ 145台
- 11月24日 看護婦宿舍新築工事竣工 16室 2階建て 582.36㎡ 106,500千円
- 1993年1月20日 救急車更新
- 2月1日 3階病棟（97床）特3類看護 承認
- 3月26日 島根県防災行政無線設置
- 7月30日 第2,3,4駐車場舗装工事 3,710.00㎡ 173台
- 8月1日 4階西病棟（45床）特3類看護 承認
- 12月1日 放射線科常勤医師着任
- 12月20日 放射線科増改築工事竣工（MR棟）RC2階建て 495.30㎡
MRI室、断層・乳房撮影室、図書室、フィルム保管庫
- 12月26日 図書室に移動ラックの設置
X線フィルム保管庫に固定ラックの設置
- 1994年1月1日 完全週休2日制実施
- 1月28日 磁気共鳴断層撮影装置（MRI）設置
シーメンス 1.0テスラ MAGNOM ImpaCT
カセットレス多軌道断層撮影装置 東芝 LGS-20A
乳房撮影装置 東芝 MGU-20C
- 9月1日 業務用電力変更契約 644KW（590KW）
当年は記録的な酷暑（最高気温 38.5℃ 8月1日）
- 11月23日 職員駐車場舗装及び暗渠排水工事
舗装 3,100㎡ 駐車台数 140台
- 12月20日 独身医師住宅新築工事 SRC 2階建て 8室 675.20㎡ 116,000千円
- 1995年2月16日 別棟建築工事 一般競争入札
- 2月17日 別棟建築工事 請負契約締結
大林組・梅木建設特別共同企業体
着工 1995年2月18日
竣工 1996年12月20日
- 2月20日 全身用CT装置更新 消化器用X線テレビ装置更新
- 5月31日 常勤助役 小山 博 就任
- 7月12日 病院前庭駐車場（借地）の設置 404.10㎡ 31台
- 9月1日 新ボイラー棟使用開始 160.00㎡
ボイラー（荏原製作所）2基
使用圧力 蒸気 10kg/cm² 電熱面積 蒸気 34.5㎡
- 10月11日 放射線科一般撮影室に更衣室設置（2室）
- 11月24日 X線一般撮影装置更新
- 1996年1月29日 心臓用超音波診断装置増設
- 12月20日 別棟建築工事 竣工

当院の概況・沿革

- 3,089,550千円
鉄骨、鉄筋コンクリート5階建て 7,090.04㎡
- 1997年2月21日 別棟建築 竣工式
2月22日 別棟一般公開
竣工記念講演 宮内庁式部官長 荻田吉夫氏
3月 別棟使用開始
手術室5室（バイオクリーン）、高圧受電設備、電気幹線設備、避雷針設備、自家発電設備、ナースコール設備、テレビ共聴設備給湯設備、ボイラー設備、空調冷房設備、医療ガス設備、消防設備、自動ドア設備、エレベーター設備（2基）、オートクレープ設備、手術室手洗いユニット、逆浸透製造装置、温冷配膳車、麻酔器、血管造影撮影システム、手術用顕微鏡システム、無影灯
- 4月1日 事務当直制廃止（夜間受付業務 警備業者に全面委託）
救急外来看護業務 2交代制採用（看護師2人体制）
訪問看護ステーション「うんなん」開設
- 5月23日 院内ポケットベル設備更新 5,250千円
7月17日 本館既設改修工事 着工
- 1998年1月23日 本館既設改修工事 竣工 404,032千円
2月9日 一般病棟5床増床
一般253床、精神50床 計303床
2月26日 精神科作業療法用電気炉設置
3月 平成9年度医療機器整備事業（病院債関係分） 138,585千円
電子内視鏡システム、全自動錠剤分包機、医事業務システム更新
その他医療機器等41件
4月1日 病院長 大塚 昭雄 就任
6月1日 総合リハビリテーション施設許可
8月 外来無人受付機更新
9月10日 診療部 リハビリテーション科標榜
- 1999年1月 総合相談窓口設置
2月1日 理学療法（Ⅱ）、作業療法（Ⅱ）施設許可
3月 西棟後館屋上防水工事
1998年度医療器械整備事業（病院債関係分） 24,081千円
人工透析装置、結石破碎装置、リハビリ用移動キッチン
健診管理システム、膀胱ファイバースコープ、外来無人受付機更新、ドラフトチャンバー
3月31日 大東町外9ヶ町村伝染病隔離病舎組合
伝染病予防法の廃止により開散
4月1日 精神障害者福祉に関する法律第19条の8の規定に基づく指定病院としての指定（指定病床数 4床）
6月1日 総合リハビリテーション施設許可
- 2000年2月1日 高度難聴指導管理施設許可
2月4日 ストレージタンク関係 安全工事施行 3,139.5千円
3月 介護保険関係システム導入（支援、訪問、介護各事業所）
3月 平成11年度医療器械整備事業（病院債関係分） 28,600千円
子内視鏡システム、マイクロターゼ、薬歴管理システム
コンパクトエアードライブⅡ、超音波白内障手術セット
財務、給与システム
4月1日 指定居宅介護支援事業所「うんなん」指定

当院の概況・沿革

- 指定訪問介護事業所うんなん 指定
 指定訪問看護ステーションうんなん みなし指定
 生活保護法による介護機関 指定
 理学療法（Ⅱ）、作業療法（Ⅱ） 施設許可
 老人早期理学療法超早期加算（Ⅱ） 許可
 老人居宅生活支援事業 開始
- 6月1日 院外ポケットベル更新
 6月 介護支援、訪問看護、訪問介護 各事業所用自動車設置（6台増設）
 公用車 20台（公用車、救急車、患者輸送車、健診車、訪問車（15台）、軽トラック）
 7月12日 4階南病棟詰所空調設備工事 1,365千円
 7月14日 本館病棟空調設備更新（16台） 4,725千円
 10月1日 ペースメーカー移植術・交換術施設基準 受理
 11月10日 病棟再編整備検討委員会設置
 12月 第2会議室東側屋根防水工事
- 2001年1月 医師当直室増設（旧看護部長室）、看護部長室移設（旧会議室）
 3月1日 医師当直2人体制の実施
 3月 平成12年度医療器械整備事業（病院債関係分）17,651千円
 鼻内視鏡システム、カルテ管理システム、無散瞳カメラサーバーシステム他6件
 4月1日 県地域リハビリテーション支援センター指定
 5月27日 「簸の上園」大東町中湯石地内に移転
 6月 西棟空調設備工事 病室用27台
 7月7日 屋上避難橋の撤去
 7月 西棟屋上改修工事（物干し場屋根、屋上人工芝）、高架水槽更新
 7月18日 医療ガス設備工事 1,575千円
 8月20日 簸の上園跡地買収、同建物無償譲渡
 土地 6,485.33㎡ 175,103千円
 建物 2,669.86㎡ 無償
 平成14年1月31日 竣工
 9月21日 介護療養型病床（簸の上園跡）設置工事 175,350千円
 12月8日 院内交換設備更新工事 10,710千円
 12月27日 3階西病棟浴室改修工事
 感染症病床 4床（3階西病棟2床、4階西病棟2床）補助事業病棟再編に伴う4階東病棟既設
 改修工事（WC、浴室、医療ガス）
- 2002年1月21日 3階東病棟 病室テレビ共聴設備工事
 3月 平成13年度医療器械
 療養病棟関係分 93件 35,357千円
 その他 13件 41,523千円
 3月29日 病棟再編による許可病床数の変更 計337床
 一般205床、感染症4床、精神50床、回復30床、療養48床
 4月1日 介護療養病棟 48床開設
 回復期リハビリテーション病棟 30床開設
 5月 第三者機能評価取得に向けて取組始動
 6月 放射線科CRシステム導入
 7月1日 X線骨密度測定装置導入

当院の概況・沿革

| | | | |
|-----------|---|--|--|
| 2003年3月 | 平成14年度医療器械（病院債関係分） 104,800千円 CRシステム他 30件 | | |
| 3月26日 | 県道（松江～木次線）バイパス工事に伴う医師住宅用地の売却 土地 1,554.00㎡ 21,096千円 建物 3棟（12.13.14号住宅）61,305千円 | | |
| 4月28日 | ナースコール設備（PHS）更新工事 | | |
| 6月23日 | 4階西病棟トイレ改修工事 13,125千円 | | |
| 7月11日 | 第5駐車場整備 145台（一部借地） | | |
| 10月8日 | 医療機能評価 受審（8,9,10日 3日間） 診療情報の一元化等の一部に改善指摘 有り | | |
| 2004年3月 | 平成15年度医療器械（病院債関係分） 第5駐車場整備事業 44,204千円 ・用地費 13,149千円 ・舗装工事等 31,105千円 ナースコール設備更新工事 27,300千円（PHS導入） 医療器械等 54件 56,805千円 眼科用手術顕微鏡、超音波診断装置、全身麻酔器等 | | |
| 4月22日 | 交流無停電装置蓄電池取替 3,465千円 | | |
| 7月7日 | 規約改正特別委員会設置（組合議会） | | |
| 7月13日 | 町道阿用停車場線拡張整備事業による療養病棟敷地一部売却 面積 23.69㎡ 663,320円 | | |
| 7月29日 | 言語聴覚室新設工事 2,257千円 | | |
| 10月15日 | 町村合併に伴う病院組規約変更許可（指令市町村第733号） 構成町村 1市4町、議員数 12名、組合名称の変更 | | |
| 29日 | 医師住宅（58～69号 12室）竣工 156,225千円 土地取得費 36,000千円（2,529.87㎡） 設計監理費 4,725千円 建築工事費 115,500千円（2棟2階建て12室） | | |
| 31日 | 大東町、加茂町、木次町、三刀屋町、掛合町、吉田村 閉庁 | | |
| 11月1日 | 6町村合併により「雲南市」発足 人口46,323人（H.12国調） （旧）大東町外9ヶ町村雲南病院組合 （新）公立雲南総合病院組合 発足 新規約の施行1市4町（雲南市、横田町、仁多町、頓原町、赤来町） オーダリングシステム稼働 総工事額 246,750千円 | | |
| 2005年1月1日 | 頓原町、赤来町合併により「飯南町」発足 新規約の施行 1市3町（雲南市、横田町、仁多町、飯南町） | | |
| 3月 | 平成16年度医療機器（病院債関係分21件 56,042千円） 医師住宅1,2西町住宅公示売却 | | |
| 30日 | 横田町、仁多町合併により「奥出雲町」発足 新規約の施行 1市2町（雲南市、奥出雲町、飯南町） | | |
| 5月 | 乳房撮影装置 更新、検査室空調設備増設 | | |
| 6月 | サーバー室空調設備増設工事 | | |
| 8月1日 | 分娩室（3階西病棟）改修工事 院内共聴テレビシステム大東よとこネット（KTV）に切り替え | | |
| 9月 | 出雲大東駅周辺整備事業着工 | | |

当院の概況・沿革

- 病院正面玄関前整備（駐車場廃止、ロータリー方式）
- 30日 院内におけるアスベスト使用状況調査の実施（有害含有なし）
サンプリング採取 7箇所21検体
- 11月 外壁塗装改修工事
医局棟、医局ベランダ、西棟屋上屋看板、No2,3発電機棟
高圧気中開閉器取替え工事
RB-1 冷温水発生機オーバーホール
- 12月 構内車路整備工事（正面玄関～裏庭～第5駐車場）
水道量水器 移設
- 2006年3月1日 感染症室（340号室、436号室）
陰圧感染防止空気清浄機設置（全額補助事業）
平成17年度 医療機器等起債整備事業 17件 118,315千円
MRI、無散瞳眼底カメラ、乳房X線撮影装置他
- 4月20日 郵政事業 全国表彰
- 5月 事務室改修工事（統轄副院長室設置等）776千円
29日 総合診療科（院内標榜）設置
- 7月17日 医師住宅改修工事（21～24号、33～38号） 7,560千円
構内南側駐車場（病院裏）整備工事（27台収容） 3,885千円
- 8月 出雲大東駅周辺整備事業竣工
30日 精神科の充実を求める陳情書 市長・管理者宛（雲南家族会等）
- 11月 売店改修工事 52.1㎡
28日 売店新装オープン 委託業者 シダックスアイ
- 12月 材料SPDシステム全稼動
- 2007年1月29日 雲南市議会議員連盟設立（病院充実・医師確保）
- 2月1日 病院組合議会全員協議会（精神科病棟一時閉鎖決定）
総務課・管財課室改修工事
2階西棟南側：総務課・管財課同一フロア
2階西棟北側：副院長室（2室）、診療局長室設置
- 3月31日 精神科病棟50床一時閉鎖（S.39.4開設）
平成18年度 医療機器等起債整備事業 19件 77,010千円
マルチスライスCT装置、超音波診断装置他
訪問リハ介護事業システム導入
- 4月1日 亜急性期病床12床設置
一般202床（内、亜急性期12床）、感染4床、精神50床、回復リハ30床、介護療養48床 合計334床
- 1日 設備管理業務委託見直し（夜間、土、日、祝祭日、年末年始）
- 1日 介護事業 訪問リハビリテーション事業開設
- 2008年3月10日 人工関節センター開設式 センター長 三木堯明
16日 雲南市において公立雲南総合病院市立化プロジェクトの立ち上げ
24日 大東町「がんばれ雲南病院市民の会」発足
会長 宮川 昇氏
- 4月16日 加茂町「雲南病院を支えよう市民の会」発足
会長 久我卓央氏
- 10月1日 雲南市地域医療対策室設置
- 2009年4月1日 病院内に市立病院対策室を設置

当院の概況・沿革

- 1日 地域医療人育成センター開設
- 5月25日 病院ボランティアの会設立 会員数17名
会 長 石川 勝氏
- 6月16日 緩和ケア専門外来開設
毎週火曜日午後 完全予約制 担当医：須藤一郎 外科部長
- 8月6日 神経内科外来の診療を開始 毎週木曜日
- 9月1日 院内保育所「ほたるキッズ」開設
- 30日 2009年度第1回公立雲南総合病院改革プラン評価委員会開催
外部評価委員8名
- 5日 健康ひろば開設
- 2010年4月1日 組織体制変更（病院3役のみ抜粋）
大塚昭雄 院長 → 名誉院長
山本 俊 統轄副院長 → 名誉顧問
松井 譲 副院長 → 院長就任
服部修三 副院長 → 統轄副院長
末光浩也 医療技術部長 → 副院長
大谷 順 診療局長 → 副院長
- 健康管理センター開設
所長 末光浩也（副院長）
- ふれあいセンター開設
所長 山本 俊（名誉顧問）
- 一般病棟を3床削減し199床に変更する
- 14日 QC活動推進委員会設置
- 9月24日 QCサークル活動キックオフ大会開催
- 10月1日 医療出前講座「飛び出す！雲南病院講座」開始
- 11月1日 院内に雲南医師会事務局開設
- 12月1日 地域総合診療科開設
- 2011年3月5日 第1回QC活動発表大会開催
- 11日 東日本大震災
死者、行方不明者約2万人の大災害
- 29日 公立雲南総合病院組合解散式
- 31日 精神科病床（50床）閉鎖
- 4月1日 雲南市立病院開設
開設者 速水雄一（雲南市長）
病院事業管理者 松井 譲
院長 大谷 順
一般病床199床（内、亜急性期12床）、感染4床
回復リハ30床、介護療養48床 合計281床
- 6月1日 開放型病床（オープンベッド）の運用開始 5床
- 8月1日 電子カルテシステム・画像配信システム導入
- 9月10日 第1回雲南市立病院祭開催
- 10月1日 遠隔画像システム導入
- 2012年4月1日 病院建設準備室設置
- 13日 院内サロン「ふれあい」開設

当院の概況・沿革

世話人：松島美代子さん、小林貴美子さん

- 5月1日 第1回病院建設検討委員会開催
- 7月13日 雲南市立病院改革プラン評価委員会（最終）
- 2013年1月 病院建設基本構想策定
- 4月1日 病院建設準備室から病院建設室に名称変更
- 6月 公募型プロポーザル方式により、基本設計業者を「梓設計・ナック建築事務所設計企業共同体」に決定する。
- 10月3日 第1回病院建設委員会
- 2014年3月 病院建設基本設計策定
- 4月1日 公立みつぎ総合病院と姉妹提携
- 9月1日 地域包括ケア病棟（43床）開設
一般病床160床、地域包括ケア43床、回復リハ30床、介護療養48床 合計281床
- 12月1日 特定非営利活動法人GLOWと連携協定締結
- 2015年9月15日 病院建設工事業者との契約締結
- 18日 ○建築主体工事
契約業者：鹿島建設・植田建設・梅木建設特別共同企業体
契約金額：5,000,400千円（税込）
- 電気設備工事
契約業者：中電工・三和電工・八興電気特別共同企業体
契約金額：1,303,560千円（税込）
- 機械設備工事
契約業者：三晃空調・イマックス・島根水道特別共同企業体
契約金額：1,814,400千円（税込）
- 解体撤去工事
契約業者：(株)植田建設
契約金額：88,560千円（税込）
- 10月7日 病院建設工事安全祈願祭
- 2016年3月31日 南棟4階改修工事（新療養病棟）完了
- 4月16日 熊本県の震災に対しDMAT隊を派遣
- ～19日 派遣職員 医師1名 森脇副院長
看護師2名 濱田副師長、原看護師
調整員2名 高木薬剤師、藤原事務員
- 21日 ふれあい病棟移転開所式（南棟4階に移転）
- 16日 雲南市立病院建設工事起工式
- 2017年2月10日 読売新聞社主催「第45回医療功労賞」授賞式（島根県2名受賞）
受賞者：松井 譲（病院事業管理者）
- 7月1日 介護療養病棟（48床）を医療療養病棟（48床）へ転換
- 2018年1月15日 新棟定礎式
- 3月3日 新棟竣工式及び開院70周年記念祝賀会開催
- 4日 新棟一般公開（内覧会）約2,200人来院
- 22日 新棟開院
病棟再編 一般病棟155床（2階、3階西、4階西病棟）
地域包括ケア病棟48床（3階東病棟）
回復期リハビリテーション病棟30床（4階東病棟）

当院の概況・沿革

医療療養病棟48床（4階中央病棟）

合計281床

- 11月26日 新管理棟（旧東棟）運用開始
- 2019年1月29日 西棟（旧本館棟）定礎開封
収蔵品：定礎の辞、工事関係者名簿、工事経過書、建築図面、設計書、定礎式芳名録、書画、
定礎式当時の新聞（1966年12月9日付）、書画
- 31日 松井 讓 病院事業管理者、秦 和夫 病院事業副管理者退任
- 4月1日 執行部新体制発足
病院事業管理者 大谷 順
病院事業副管理者 原田正俊（新任）
院長 西 英明
統轄副院長 佐野啓介
副院長 森脇義弘、瀬島 斉（新任）
- 1日 雲南市立病院附属掛合診療所開所
所長 笠 芳紀
（雲南市国保直営診療施設から市立病院に経営移管する）